

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 5 月 3 日現在

機関番号：14501

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2017～2022

課題番号：17K13285

研究課題名（和文）近現代ベトナムとカンボジアに跨る政治的边境ウォーター・フロンティア

研究課題名（英文）The Political Water Frontier straddling Modern and Contemporary Vietnam and Cambodia

研究代表者

下條 尚志 (Shimojo, Hisashi)

神戸大学・国際文化学研究所・准教授

研究者番号：50762267

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：本科研では、ベトナム・カンボジア国境を越えて広がってきた河川・海域世界に調査対象を設定し、その広域的な世界の中で近現代の政治的動乱を経験した市井の人々がどのような生存戦略をとってきたのかを検討してきた。具体的には、移動や闇経済活動、非合法越境ルートの生成に焦点を合わせてきた。本科研を通じて得られた最大の成果は、拙著『国家の「余白」―メコンデルタ 生き残りの社会史』（2021）である。この著書は、2015年に提出した報告者の博士論文を基にしつつ、本科研で実施したベトナム、カンボジア、タイでの広域調査の成果を取り入れ、大幅に加筆・修正したものである。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本科研の学術的意義は、20世紀東南アジア大陸部が経験した戦争と社会主義を、市井の人々の立ち位置から捉え直したことである。従来の研究においては冷戦史観やナショナリズムという観点から論じられてきたベトナム戦争や戦後の社会主義の問題を、本科研では、国際紛争に奔走されつつもそれを乗り越えようとする人々の日々の生存戦略とそれを実現させた河川・海域世界という空間から問い直した。

本科研の社会的意義は、東南アジアのみならず政治的混乱を経験した、たとえばアフガニスタンや南スーダンといった地域における人々の生存戦略を理解するうえで、多くの示唆を与えたことである。

研究成果の概要（英文）：In this Kaken research project, we have set our research focus on the riverine and maritime world that has spread beyond the Vietnam-Cambodian border, and have examined what survival strategies have been adopted by ordinary people who have experienced political disturbances in modern and contemporary times within this broad world. Specifically, we have focused on migration, black economic activities, and the creation of illegal cross-border routes. The most significant result obtained through this research project is my book, "Intangible Spaces: A Social History of Survival in the Mekong Delta" (2021). This book is based on the my doctoral dissertation submitted in 2015, but has been significantly revised by incorporating the results of the extensive research conducted in Vietnam, Cambodia, and Thailand during the term of this Kaken project.

研究分野：歴史人類学、東南アジア研究

キーワード：政治的動乱 闇経済 家族・親族関係 混淆 边境 メコンデルタ 戦争 社会主義

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

報告書は、ベトナム南部ソクチャン省にある一村落フータン村において、人々のオーラル・ヒストリーを収集・分析してきた。メコンデルタのバサック河流域に位置するフータン村はクメール人、華人、ベトナム人が混住する多民族社会であり、その戦争避難民、徴兵忌避者、生活困窮者の多くが、国境を越え、カンボジアへ非合法的な手段で移動してきた。彼らは、20世紀半ばに国民国家ベトナム、カンボジアが誕生した後も、故郷とカンボジアを共通の文化的、社会的領域として認識し続けてきた。

なぜ、彼らはそのような認識を維持しているのか。この問いへの答えの鍵となる概念が、「ウォーター・フロンティア」である。先行研究によれば、植民地期より以前、バサック河流域やシャム湾沿岸沿いから、カンボジア、タイ、マレー半島にかけて、華人、クメール人、ベトナム人、タイ人、チャム人、マレー人など、多民族が参加する交易世界が広がっていた[Li 2004]。国家の力が及ばない政治的辺境に栄えたこのウォーター・フロンティアは、フランスなど西欧諸国の植民地が拡大していった19世紀後半以降、消滅していったことが定説になっている。

しかし、メコンデルタのバサック河流域やシャム湾沿岸地域には、現在もクメール人、華人、ベトナム人、チャム人の混血住民(lai)が多数おり、フータン村のように複数のエスニシティが混雑する多民族社会が存在する。その住民達は現代においてなお、故郷ベトナムとカンボジアの間を頻りに往来している。こうした状況を鑑みると、ウォーター・フロンティアは、19世紀後半に消滅してはならず、存在し続けてきたのではないか。そしてそれは、フランスによる両地域の超域的な統合(仏領インドシナ)と、20世後半の政治的動乱を原因とする国境の形骸化によって維持されてきたのではないか。申請者は、現代ベトナム-カンボジアの関係を説明する上で、ウォーター・フロンティアの概念が新たな視座をもたらす得ると考え、本研究を着想した。

報告書が調査対象とするのは、メコン河流域やシャム湾沿岸に沿って、ベトナムからカンボジアへと至る非合法ルートを利用し、闇取引、違法な出稼ぎ、国外逃亡を図っていた人々である。本研究は、この非合法ルートの実像と、人々が依拠していた人と人との結びつきを解明し、ベトナム-カンボジア間で植民地化以前から現在にかけて形成されてきた広域的な政治的辺境世界が、人々にとって、また国家にとっていかなる役割を果たしてきたのかを検討・解明しようとした。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、ベトナム-カンボジア国境に跨る広大な政治的辺境世界「ウォーター・フロンティア」の歴史的・現在の意義を問い直し、社会-国家関係の変遷を解明することであった。20世紀のベトナムとカンボジアは、世界恐慌、長期的な戦争、社会主義政策による動乱を経験した。この動乱によって両国間の国境統治が形骸化するなか、困難に直面したベトナムの人々の多くは、難民や経済移民として国境を越え、カンボジアへ渡った。人々はなぜ越境したのか?どのルートを通り、いかなる人間関係に頼ったのか?国民国家は人々の越境行為をどう捉え、管理し、時に黙認してきたのか?これらの問題を、ベトナム南部メコンデルタの多民族社会からカンボジアにかけて広がる政治的辺境世界における「越境行為」に着目しつつ明らかにしようとした。

### 3. 研究の方法

文献資料では見えてこない非公式の政治的辺境ウォーター・フロンティアの実態を解明するため、ベトナムとカンボジアにてオーラル・ヒストリーを主に収集・分析した。また、国境線内に残る辺境の開発を試みてきた国家と住民の駆け引きを解明するため、公文書、新聞、地誌、地図などの文献も利用した。具体的には、ベトナム南部メコンデルタからカンボジアにかけて広がるバサック河流域ルートおよびシャム湾沿岸ルート上にある都市、市場町においてフィールドワークを行い、ルートを移動してきた人々の生い立ち、経験、家族関係、商取引ネットワーク、宗教的紐帯を分析した。彼らの移動した政治経済的背景、広域的な人間関係の生成と結びつきを解明し、政治的辺境をめぐる社会-国家関係の変遷を捉えた。

#### 4. 研究成果

実際に調査を進めてゆくなかで、近現代において、ベトナム、カンボジアにおける国民国家形成にともなうインフラ整備によって、人々が河川・海域世界を利用する機会が明らかに減少している現状を目の当たりにした。ただし、調査を進めてゆくなかで、ベトナム戦争や社会主義の混乱のなかで、人々が巧みに河川・海域を利用し、国民国家による徴兵や徴税などから逃れてきたことが明るみになった。

本科研を通じて多くの成果を得ることができたが、最大の成果は、単著『国家の「余白」――メコンデルタ 生き残りの社会史』である。

同著は、2015年に提出した報告書の博士論文を、提出後に本科研等で実施した研究を踏まえて大幅に加筆・修正したものである。

同著は、仏領時代からベトナム戦争、社会主義を経て現代に至る、動乱に巻き込まれたベトナム南部メコンデルタ地域の人々の「生き残る術」について論じた、民族誌的な歴史研究である。著者は2009年10月から2012年3月にかけて、ホーチミン市で1年強の周到な準備(図書館・公文書館での文献史料調査および広域踏査、農村調査手続き)をした後、デルター村落のフータン社(行政村に相当)に約15ヶ月暮らしながら村人の日々の生活の見聞と、歴史についての聞き書き、資料収集を行った。ベトナム南部において1年以上連続で住み込み調査を実現したのは、ベトナム戦争終結以来、筆者が初となる。この長期調査に基づいて執筆した博士論文提出後も、本科研を通じて、メコンデルタ各地やカンボジア、両国の国境地域で短期の現地調査を繰り返し実施し、その成果として2021年に同著を刊行した。

同著は、20世紀半ば以降の戦争と戦後の社会主義政策の下、国家による集住化、暴力、兵役、農業集団化に対し、生き残りをかけて、人々が徴兵忌避や闇経済、カンボジアへの非合法越境ルートなどの「国家の介入しにくい空間」を生成してきたことを論じている。民族的混雑性や移動性の高さ、国境の外側と結びついた宗教・経済など、国家にとって捉えどころがなく統治しにくい要素が混在するフータン社のような地域を国家の「余白」と言及し、そこが危機的状況を改善したり調整したりすることで、ローカルな秩序を紡ぎ出していく「余地」が人々の手に残された場でもあったと結論付けた。

本書の重要性は、東南アジアを中心に活発に議論されている以下2つの歴史像をめぐる議論に対し、新たな知見を提示したことである。第一に、「奇妙なパラレル」論(Lieberman 2009)である。それは、遊牧民の侵攻に強く影響されなかった東南アジア大陸部などを“Protected Zone”とし、16世紀以降にそれらの地域で平行して進行した近世的国家による政治的・文化的統合の要因を検討する。その要因に、疾病や気候変動などへの対処に伴う人口増加、辺境開拓、都市の発達、技術発展、地域間貿易の発達などを挙げる。第二に、「奇妙なパラレル」論と対照的な「ゾミア」論(Scott 2009)である。東南アジアからインドにかけ広がる山地は前近代、平地国家の力が及ばない辺境「ゾミア」であったのであり、現山地民は、奴隷、徴兵、伝染病、戦争といった平地の国家建設から逃亡した人々の末裔であると論じる。以上の両研究は対照的な見方でありながら、近世・近代以降の国家統合の進展と人間を捕捉する技術の拡大によって辺境・周縁が消滅していったことを論じた点で共通する。この単線的な歴史観は、辺境ではないものの日本の非国家空間に言及した「無縁・公界・楽」論(網野 1996)とも重なる。

前近代メコンデルタも、東南アジアの河川・海域世界の一部として、非国家的な「ウォーター・フロンティア」として形容され、遠隔地からやってきた民族的に多様な人々が、国家の統制の及ばないこの地域で、自由な交易を通じて関わりあってきたと論じられてきた(Li 2004)。このデルタの辺境性もまた、上述の辺境・周縁をめぐる議論と同様、近世・近代国家の拡大によって消失していくという歴史観で論じられてきた。それに対して、本書はメコンデルタの、混雑的な多民族社会であるフータン社を事例に、非国家空間の衰退という単線的な歴史観の超克を試みた点で、学術的価値が高いと言える。

本書は、20世紀後半以降に、メコンデルタを統治した国民国家ベトナムが、戦争と社会主義の下、統計や分類、強制、暴力を用いて人々の捕捉を試みたものの、かえって動乱を巻き起こしたこと、そして食糧資源や労働力の提供を求められた人々が、生き残りを図って徴兵忌避の場、闇市、国境を越えた規模での逃亡ルートを生成していたことを論じる。すなわち、国境線内の領域的統合が単線的に進展したのではなく、近現代においても国家の介入しにくい空間は、状況に応じ、伸縮を繰り返してきた点を明らかにした。食糧資源・労働力の集積をめぐる前近代に生じていた人類と国家の軋轢や折衝、そして国家の統合と分裂の過程が、近現代、なかでもアメリカをも巻き込んだグローバルな紛争経験社会でも顕著に顕在化することを解明した点に、同著の学術的意義がある。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計6件（うち査読付論文 3件/うち国際共著 1件/うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 Shimojo, Hisashi	4. 巻 10(1)
2. 論文標題 Local Politics in the Migration between Vietnam and Cambodia: Mobility in a Multiethnic Society in the Mekong Delta since 1975	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Southeast Asian Studies	6. 最初と最後の頁 89-118
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.20495/seas.10.1_89	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Hisashi Shimojo	4. 巻 10
2. 論文標題 Local Politics in the Migration between Vietnam and Cambodia: Mobility in a Multiethnic Society in the Mekong Delta since 1975	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Southeast Asian Studies	6. 最初と最後の頁 89-118
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.20495/seas.10.1_89	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Hisashi Shimojo	4. 巻 16
2. 論文標題 From “ Ideal Social Model ” to Reality: Vietnamese Studies in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Vietnamese Studies	6. 最初と最後の頁 4-47
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1525/vs.2021.16.1.4	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 下條 尚志	4. 巻 58
2. 論文標題 書評：瀬戸裕之；河野泰之（編著）。『東南アジア大陸部の戦争と地域住民の生存戦略 避難民・女性・少数民族・投降者からの視点』明石書店，2020，324p.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東南アジア研究	6. 最初と最後の頁 279～284
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.20495/tak.58.2_279	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 下條尚志	4. 巻 108
2. 論文標題 タイとベトナムの接点を探る旅	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東南アジア学会会報	6. 最初と最後の頁 36-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 下條尚志	4. 巻 95
2. 論文標題 ベトナム カンボジア国境の越境移動をめぐるローカルな政治 冷戦終結後メコンデルタのクメール人越境者とベトナム国家	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アジア・アフリカ言語文化研究	6. 最初と最後の頁 151-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計12件 (うち招待講演 2件 / うち国際学会 6件)

1. 発表者名 下條尚志
2. 発表標題 メコンデルタ多民族社会の混交と忌避の語りから考える身体
3. 学会等名 東南アジア学会第103回研究大会、Zoom開催(龍谷大学主催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hisashi Shimojo
2. 発表標題 Mekong Delta as a Wet Zomia," at the panel "Locating Zomias Wet and Dry: Stateless Spaces in Maritime and Mainland Southeast Asia
3. 学会等名 European Association for Southeast Asian Studies 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hisashi Shimojo
2. 発表標題 Belonging and Religion in the Multi-Ethnic Society in Vietnam's Mekong Delta Cross-Border Migration by Khmer Theravada Buddhist Monks
3. 学会等名 The International Convention of Asian Scholars (ICAS) 11 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hisashi Shimojo
2. 発表標題 Belonging and Religion in the Multi-Ethnic Society of Vietnam's Mekong Delta Cross-Border Migration by Khmer Theravada Buddhist Monks
3. 学会等名 Programme for Third Workshop, Goldsmiths, London (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hisashi Shimojo
2. 発表標題 Belonging and Religion in the Multi-Ethnic Society of Vietnam's Mekong Delta Cross-Border Migration by Khmer Theravada Buddhist Monks
3. 学会等名 Center for Japanese Studies University of California, Berkeley co-sponsored by the University of Shizuoka (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 下條尚志
2. 発表標題 ミクロヒストリーと「大きな歴史」の絡み合う場 - ベトナム南部メコンデルタ多民族社会における差異の認識
3. 学会等名 日本文化人類学会第53回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 下條尚志
2. 発表標題 混淆と移動から考えるメコンデルタの『華人』
3. 学会等名 日本ベトナム研究者会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 下條尚志
2. 発表標題 混淆と移動から考えるメコンデルタの『華人』
3. 学会等名 東南アジア学会関西例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 下條尚志
2. 発表標題 統治と生存の社会史 脱植民地化以降のベトナム南部メコンデルタ多民族社会における世界観と国家
3. 学会等名 日本文化人類学会第52回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 下條尚志
2. 発表標題 ベトナム南部メコンデルタ多民族社会の民族・宗教・越境
3. 学会等名 東南アジア学会北海道・東北地区例会シンポジウム境界からみるアジア 宗教の中心と周縁（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hisashi Shimojo
2. 発表標題 Local Politics in National Border-Crossing between Southern Vietnam and Cambodia: Mobility in the Mekong Delta after the Cold War
3. 学会等名 SEASIA2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hisashi Shimojo
2. 発表標題 Migration as Survival Strategy in a Multi-Ethnic Village of the Mekong Delta since 1975
3. 学会等名 2017 Vietnam Update (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計5件

1. 著者名 和田理寛・小島敬裕・大坪加奈子・増原善之・下條尚志・杉本良男	4. 発行年 2021年
2. 出版社 風響社	5. 総ページ数 198
3. 書名 東南アジア上座部仏教への招待 (風響社あじあブックス)	

1. 著者名 下條尚志	4. 発行年 2021年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 558
3. 書名 国家の「余白」: メコンデルタ 生き残りの社会史	



1. 著者名 下條尚志(信田 敏宏他)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 832
3. 書名 「クメール・クロム」、信田敏宏編『東南アジア文化事典』	

1. 著者名 下條尚志	4. 発行年 2023年
2. 出版社 国際書院	5. 総ページ数 340
3. 書名 「ミクロヒストリーを通じて考える対立の記憶 ベトナム南部メコンデルタ多民族混淆社会の 経験と場をめぐる歴史語り」、王柳蘭・山田孝子編著『ミクロヒストリーから読む越境の動態』	

1. 著者名 岩井美佐紀編著(編集協力者:大泉さやか;下條尚志)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 440
3. 書名 『現代ベトナムを知るための63章【第3版】』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------

ベトナム	USSH, Ho Chi Minh City			
ベトナム	Tra Vinh University			